

令和2年6月 定例県議会

自民党香川県政会による代表質問の内容

新型コロナウイルス感染症で 影響を受けた県内企業の支援

事業継続と雇用維持を強力に支援

質問：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経営が悪化した中小企業や小規模事業者等の事業継続や雇用維持に対する支援にどう取り組むのか。

答：（知事）事業継続への支援として、国の給付金を受けた中小企業や小規模事業者に対し、一律20万円を支給する「県持続化応援給付金制度」や3年間無利子で保証料ゼロの「県コロナウイルス感染症対応資金」融資を設けた。



持助成金制度」を設けるとともに、相談窓口を設置して申請手続き等の支援を行っている。

その他、国の制度に上乘せする「県家賃応援給付金支給事業」を始める。

私としては、事業者に少しでも早く支援が届くよう、国や金融機関

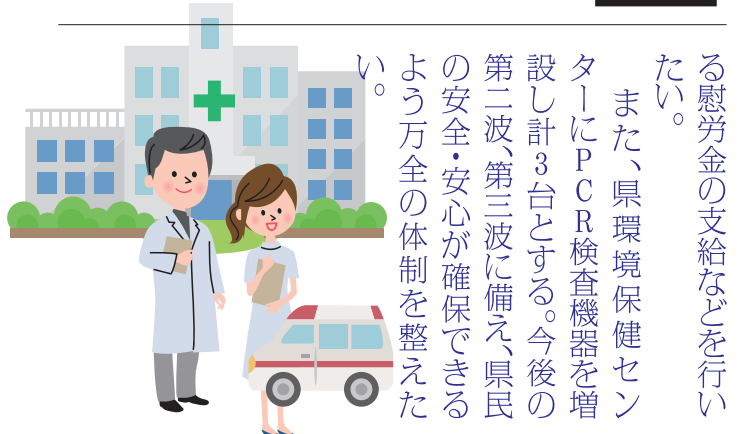
等と連携して、スピード感を持って取り組んで行く。

医療提供体制・PCR検査体制の強化

県民の安全・安心の確保へ万全の体制を整備

質問：今後新型コロナウイルス感染症患者の大幅増加に備え、必要な病床確保や軽症者等の宿泊療養施設の整備に取り組む必要がある。また、献身的に業務に当たっている医療従事者への支援も必要である。一方、PCR検査体制の強化も求められている。県の取組みについて聞く。

答：（知事）新型コロナウイルス感染症患者の受入病床は、163床を確保するとともに空床確保のための経費を支援する。軽症者等の宿泊療養施設としては高松市内でホテルを借り上げ、受入体制を整えている。更に、医療従事者への支援として特殊勤務手当や宿泊費の一部助成、国の予算によ



る慰労金の支給などを行いたい。

また、県環境保健センターにPCR検査機器を増設し計3台とする。今後の第二波、第三波に備え、県民の安全・安心が確保できるように万全の体制を整えたい。

本県農業の持続的発展に 向けた取り組み

施策の総合的推進で、 収益性の向上や経営の安定を図る

質問：国内外の産地間競争の激化や農産物の価格低迷など、農業を取り巻く環境が厳しくなる中、農業従事者の減少や高齢化が影響して、耕作放棄地や管理不十分な農地が増加している。国の新たな「食料・農業・農村基

本計「画」を踏まえ、本県農業が持続的に発展するため、どの取り組みでいくのか。

答：（知事）本県農業が持続的に発展するためには、意



欲ある担い手の確保・育成や、魅力ある農産物づくり、戦略的な流通・販売を総合的に推進し、農業の収益性を高め、経営の安定を図ることが重要である。

就農から安定までの一貫したサポート体制による担い手確保に努める。また、機械・施設の導入支援や栽培技術指導などを行い生産基盤の強

